

3 授業におけるコンピュータの効果的な活用に関する研究

科学技術教育部（第1年次）

本研究は、新学習指導要領に示された各教科の学習指導におけるコンピュータの活用目的を「児童生徒の主体的な学習活動の支援」に置き、学習活動のどの部分に、どのようにコンピュータの機能を活用すれば効果的かを2年次計画で追究しようとするものである。

本年度は、基礎研究として、県内の公立学校の学習環境、コンピュータの利用状況に関する調査により、その実態を明らかにし、次に、コンピュータの機能の概念を規定した。その上で、コンピュータの機能と学習活動との関連を明らかにするために、小・中・高校の3校種7教科9科目の各科目ごとに、学習指導内容や場面を具体的に分析し、それとコンピュータの機能との関連表を作成し、学習活動の道具としてのコンピュータの効果的な活用についての見通しを立てた授業の在り方を、小・中・高校の各校種において実践的に追究するものである。

4 開発的な指導援助の在り方に関する研究

教育相談部（第1年次）

個性を生かす教育が望まれているおり、児童生徒の発達過程を踏まえ、児童生徒の潜在している可能性を引き出すように指導援助することが重要である。

本研究は、児童生徒の自己理解を援助しながら、一人ひとりの個性を生かし、伸ばすための開発的な指導援助の在り方を3年計画で追究することにした。

本年度は、次の内容について研究を進めた。

- (1) 開発的な指導援助の基本的なとらえ方を明らかにした。
- (2) 開発的な指導援助の意識と実態を調査し、開発的な指導援助の今後の課題を集約して、指導援助の方向をまとめた。
- (3) 研究協力校を設け、学級集団の実態を把握することと、学級の実態分析から開発的な指導援助の在り方を追究した。
- (4) 開発的な指導援助の基本的対応と、学校での各指導場面における開発的な指導援助の内容をまとめた。

第4節 教育相談

1 対象別

来所相談件数・延べ人数 電話相談延べ回数

種別	対象	幼	小	中	高	一 般	保 護 者	教 員	計
		来所	件数	16	74	94	63	20	
相談	延べ 人数	59	122	108	88	46	645	180	1,248人
電話 相談	延べ 回数	29	336	572	407	47	0	1	1,392回

※ 電話相談の回数は、主として対象となる児童生徒の保護者や教員から受けたものである。

2 区分別

来所相談件数・延べ人数 電話相談延べ回数

種別	区分	知能 学業	性 格 行 動	身 体 反 応	進 路 適 性	教 育 一 般	計
		来所	件数	0	201	13	
相談	延べ 人数	0	1,065	44	19	120	1,248人
電話 相談	延べ 回数	4	1,163	43	12	170	1,392回

3 地区別来所相談延べ人数

県北	県中	県南	会津	南会津	いわき	相双	その他	計
940	141	42	25	2	12	82	4	1,248人

4 月別相談延べ人数・回数

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	来所 相談	34	70	145	133	70	76	136	134	122	84	152	92	
電話 相談	105	101	126	108	64	136	123	134	121	106	137	131	1,392回	

第5節 教育図書・資料

1 教育図書・教育資料の収集

- 教育図書購入冊数 183冊
- 寄贈教育図書冊数 141冊
- 定期刊行購入冊数 37冊（月）
- 研究紀要寄贈冊数 931冊